

# 痛い の 痛い の 飛んでいけ～!!

佐久総合病院 ペインクリニック科より



## はじめまして

はじめましてペインクリニック科の深澤です。突然ですが、「痛み」って何でしょうか？ 手にとげが刺さったりすると感じる感覚で、誰もが体験するものですが、なぜ他の感覚でなく、わざわざ苦痛である「痛み」なのでしょう？

今回から何回かのシリーズに分けてそんな誰もが経験するけどよく知らない「痛み」について、またその「痛み」に特化した診療を行なっているわたしたちペインクリニック科について紹介していきたいと思います。

## 「痛み」って何？

「痛み」は誰もが体験する私たちが生まれ持ったとても不快な感覚の一つです。しかし、なぜこのような不快な感覚が必要なのでしょう？

考えてみてください。もし「痛み」がなかったら…いつケガをしたのかもわからない、そのため危険なものを危険であるとも認識できない、場合によっては知らないうちに死に直結することもあるかと思えます。

「痛み」とはとても不快ではありますが、私たちが生き延びるためになくしてはならない警告信号としての感覚なんですね。

しかし、すべての痛みが警告信号というわけではなく、長引く痛みいわゆる「慢性痛」は警告信号としての役割は薄れ、生活の質を落とすだけの不快極まりない症状となるため治療が必要となります。

## 「痛み」を感じない病気

「先天性無痛（無汗）症」という病気があるのご存知でしょうか？

遺伝性・自律神経ニューロパチーという病気の一つで生まれつき「痛み」を感じない病気です。この病気の方は、「痛み」を感じないためケガなどを負っても気が付きません。そのため傷から感染や壊死を起こし致命的な障害を負うこともあります。

「痛み」は危険回避として、わたしたちが生き延びるために備え持った大切な機能なんですね。

## ペインクリニックが

### 対象とする病気

ペインクリニックの対象疾患は、痛みを有する病気以外に四肢の血流障害を起こす病気や顔面神経麻痺、多汗症など痛み以外の病気も対象となります。

**病院祭 いこいの広場 三二講座のご案内**

**日時 5月21日（日） 場所**

**12時30分～12時50分 いこいの広場**

**「長引く痛みとの上手な付き合い方は？」**

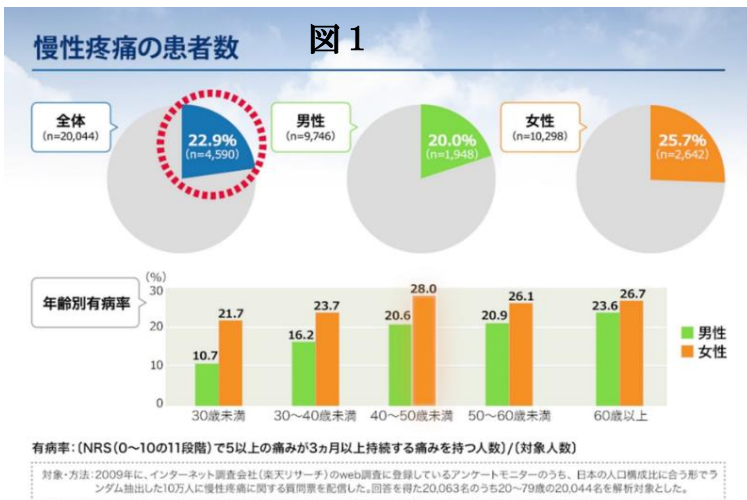
**ペインクリニック科 深澤 正之**

## 私みたいに「痛い、痛い」っていう人っていないでしょ？

「私みたいにずっと「痛い、痛い」って言う人っていませんよね？」と尋ねられることがあります。図1をご覧ください。過去に行われた大規模調査の結果ですが、長引く痛みを有する方は実に約4人に1人との結果でした。たくさんの方が痛みを抱えながら実際、生活されている状況が垣間見えます。多くの方々は、痛くても、「これくらい痛みでは大丈夫」と普通に生活を送られていますが、なかには日常生活に支障があり、精神的に不安や抑うつ傾向になっている方もいます。

結果として痛みがつかなくなると仕事や勉強など社会活動も停滞してしまいます。実際に図2は各種の病気が及ぼす経済損失の試算です。個々の「痛み」が社会経済に与える影響が思いのほか大きく、「痛み」という症状が、個人の問題だけでなく、社会全体の問題としてもとらえて解決していかないといけないことがうかがえます。

(これを問題視した厚生労働省や一部の議員連盟を中心に、現在、「慢性痛」に対する国としての対策の検討が始まっています)



## ペインクリニックって何？

私の身内にも、また、外来受診をされた方でさえもよく言われることがあります。

「ペインクリニックって何をしているところなの？」

と。

ペインクリニックは、都心部では一般的になりつつありますが、その認知度はまだまだ低い診療科です。カタカナ名称だからわかりづらいという部分もあり、日本語で表現すると「痛み診療・治療科」となります。こうすれば何となくわかりますね、「痛み」という病態に対して専門的に診療する科なのです。

治療は主には神経ブロック療法といって、痛みを感じている原因の神経や神経周囲に対して局所麻酔薬などを注射する方法を行います。また、痛みの機序や性状に応じて種々の飲み薬を使い分けて処方します。

ここでまた疑問がでるのではないのでしょうか。

「神経ブロックって局所麻酔薬だから、切れたら元に戻るんじゃないの?」「注射や飲み薬で痛みは全部なくなるの?」この点に関しては次回以降にまたお話しすね。

「痛みがもう少しなくなればよいのに」、「この痛みがなければ生活が楽なのに」  
 など「痛み」に関してお困りでしたら当科にお気軽にご相談ください。  
 少しでも快適な生活が送れますように、ともに解決方法を探していきましょう。